

令和8年第1回可児市議会定例会 一般質問通告一覧表 3月4日（5日・6日）

No.	質問者	質問項目（答弁者）
1	天羽 良明 （可児未来）	<p><u>1. 可児っ子海外交流訪問団の成果と今後（市民文化部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>国際交流事業の効果の検証や参加機会の公平性、今後の事業展開について、市としての考えを明確にする必要があると考える。事業の効果と今後の展開を問う。</p> <p>質問1 事業の目的と位置づけは。</p> <p>質問2 これまでの実績と成果は。</p> <p>質問3 参加者選考と機会の公平性についての考えは。</p> <p>質問4 費用負担と保護者支援については。</p> <p>質問5 帰国後の学びの還元への取り組みは。</p> <p>質問6 今後の事業展開については。</p>
No.	質問者	質問項目（答弁者）
2	田上 元一	<p><u>1. 地方創生の取り組みについて（市政企画部長）</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>国、地方挙げて地方創生に取り組んで10年余りが経過しました。これまでの取り組みの成果と評価、そして課題や今後の方向性などについて、可児市としての考えをお聞きします。</p> <p>質問1 可児市としての地方創生10年間の取り組みの成果と評価、そして課題をどのように捉えているか。</p> <p>質問2 新たな段階に入った地方創生について、可児市としてどのように取り組んで行く考えか。</p> <p><u>2. 名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）への対応について（建設部長）</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）については、存続に向けて3市町と名古屋鉄道との協議が継続していますが、現時点での協議の状況並びに今後に向けて可児市としての対応についてお聞きします。</p> <p>質問1 「みなし上下分離方式」による運行継続に向けて3市町と名古屋鉄道との間で行われている協議について、現時点でどこまで進んでいるのか。</p> <p>質問2 当該路線の存続に向けて可児市としてどのように関わっていく考えか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
3	松尾 和樹 (白い会派)	<p><u>1. 高齢者福祉の充実に向けた訪問理美容支援 (福祉部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>外出困難な高齢者の増加を踏まえ、高齢者の衛生保持や生活の質、尊厳を支える訪問理美容について、他自治体事例も参考にしながら本市における支援制度検討の可能性を問う。</p> <p>質問1 訪問理美容に対する利用者負担軽減の制度について、現在までに検討されているか。</p> <p>質問2 訪問理美容に対する本市の基本的な認識は。</p> <p>質問3 訪問理美容支援制度を検討する場合、どのような論点整理が必要になると考えるか。</p> <p>質問4 高齢者福祉施策の一つとして検討課題に位置づける考えはあるか。</p> <p><u>2. K マネーの外国籍市民対応と協力店拡大を (市民文化部長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>地域通貨 K マネーについて、外国籍市民への制度周知や、外国籍市民の利用が多いと把握している事業所の協力店登録状況を踏まえ、多文化共生の視点からの課題、及び商工業振興への展開に関する市の認識と取組を問う。</p> <p>質問1 有効期限内の K マネー利用促進に向け、市が認識する課題と対応策は何か。</p> <p>質問2 外国籍市民への周知や、外国籍市民の利用が多いと把握している事業所の K マネー協力店登録の促進について、現状の取組と課題は。</p> <p>質問3 本事業を今後の商工業振興にどう繋げていくのか、市の見解を伺う。</p>
No.	質問者	質問項目 (答弁者)
4	澤野 伸 (会派きずな)	<p><u>1. 「日本版 DBS」制度の準備状況と対応は (教育長、市政企画部長、市民文化部長、こども健康部長、教育委員会事務局長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」が成立し、これに基づく「日本版 DBS」制度が令和 8 年 12 月 25 日に施行される。本市の準備状況と対応は。</p> <p>質問1 日本版 DBS の本市の準備状況と制度理解のための取り組み。</p> <p>質問2 特定性犯罪の前科が確認された職員への対応は。</p> <p>質問3 取得した性犯罪歴情報の適切な管理は。</p> <p>質問4 認定対象事業者への対応は。</p> <p>質問5 業務の委託先に認定対象事業者という条件をつけるか。</p> <p>質問6 民間事業者に対して制度の広報は行うのか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答弁者)
5	富田 牧子 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 障がい者をめぐる諸問題 (福祉部長)</u></p> <p>一問一答方式</p> <p>令和6年9月議会では、主に障がい者雇用について尋ねたが、今回は、第7期可児市障がい者計画の中の「重点を置く取り組み」について、進捗状況を聞く。</p> <p>質問1 親亡き後の暮らしの場の整備について、進んでいるのでしょうか。</p> <p>質問2 通院の付き添い支援について、何か方法はありますか。</p> <p>質問3 市内に就労継続支援A型事業所は開設されないのでしょうか。</p> <p>質問4 社会参加助成券の取り扱いを広げることにはできないのでしょうか。</p> <p><u>2. デジタル・シティズンシップ教育の推進を (教育長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>デジタル・シティズンシップとは、インターネットやSNSなどのデジタル社会で安心・安全・責任ある行動をとるための考え方やスキルだが、早急に、子どもたちにその力をつける必要がある。</p> <p>質問1 可児市 ICT 教育に関する基本計画 (第2期) では、デジタル・シティズンシップはどのように取り上げ、教育されていますか。</p>
No.	質問者	質問項目 (答弁者)
6	山田 喜弘 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 公立小学校給食費の負担軽減について (教育委員会事務局長)</u></p> <p>一括答弁方式</p> <p>本年4月から始まる公立小学校の給食費負担軽減において、給食の質と量が確保されるのか。支援基準額を超過する分を保護者に求めるのか。また、非喫食者に対して現金給付などを行うのか。本市の見解を伺う。</p> <p>質問1 令和8年4月開始の小学校給食費負担軽減について。</p> <p>質問2 給食の質の向上について。</p> <p>質問3 支援基準額の超過分の対応について。</p> <p>質問4 特色ある給食の提供や独自の負担軽減の現状の取り組みについて。</p> <p>質問5 非喫食者の現況について。</p> <p>質問6 非喫食者への対応について。</p> <p>質問7 抜本的な負担軽減の正確な周知について。</p> <p>質問8 国の令和8年度予算への対応について。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
7	野呂 和久 (可児市議会 公明党)	<p><u>1. 一般廃棄物処理基本計画 (案) について (市民文化部長)</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>2026年4月から10年間の計画である一般廃棄物処理基本計画(案)が策定された。新たに盛り込まれた食品ロス削減推進計画(案)の詳細やプラスチック製品としての使用済紙おむつ回収が実施されるのかを問う。</p> <p>質問1 使用済紙おむつの再生利用の調査研究と課題および回収の実施は。 質問2 食品ロス削減量の政府目標と本市目標の整合性について。 質問3 食品ロス削減サービス「タベスケ」の見解、導入への考えは。 質問4 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」との連携・市民への情報発信「食品ロス削減全国大会」への開催地応募への所見は。</p>
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
8	伊藤 健二 (日本共産党 可児市議団)	<p><u>1. 農業振興対策について (経済交流部長)</u></p> <p><u>一問一答方式</u></p> <p>農業生産者の自己責任化が強まる中、本市農業の課題を問う。本市農政に何が求められているか、営農への支援策を問う。</p> <p>質問1 食糧法の改悪と水田政策の見直しは、本市農業へどの様に影響すると考えるか。国からの「生産調整」策は継続するのか、中止か。 質問2 本市の農業振興には、今後、どの様な対策を考えていくのか。</p> <p><u>2. 林野火災予防と農作業等について (総務部長、経済交流部長)</u></p> <p><u>一括答弁方式</u></p> <p>林野火災予防のため、本年1月から「たき火」を含む火の使用制限が実施されている。火の使用制限を受ける区域指定(29条関係)と、期間及び区域の指定(45条)がある。条例内容の啓発を求める。</p> <p>質問1 林野火災予防と農作業(野焼き等)の取扱いや注意点について説明を。 質問2 規制の対象地域であるか否かをどう知ることか、また、住居地に関連する特定地域指定はあり得ることか。</p>

No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
9	高木 将延 (会派きずな)	<p>1. 「かにたろうクッキー」は可児産里芋全体の販売促進につながるか (経済交流部長)</p> <p>一括答弁方式</p> <p>地域課題解決型公民連携事業として開発販売された地域ブランド「かにたろうクッキー」をきっかけに可児産里芋全体の販売量増加につなげることはできないか、今後の展開について、本市の見解を問う。</p> <p>質問1 かにたろうクッキーの収支見込みについて。 質問2 かにたろうクッキーの販売件数及び取扱量について。 質問3 かにたろうクッキーに関する市民の反応について。 質問4 かにたろうクッキーの今後の展開について。</p>
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
10	板津 博之 (会派きずな)	<p>1. 持続可能な選挙運営と投票制度の在り方について (選挙管理委員会書記長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>2月8日に執行された衆議院選挙の本市における執行状況は。また、電子投票の可能性を含めた持続可能な投票制度のあり方と投票率向上策について問う。</p> <p>質問1 期日前投票者数・全体投票率は過去の選挙と比較してどうであったか。また、入場券発送遅延による混乱はなかったか。 質問2 小選挙区、比例代表、国民審査の開票作業は予定通りに終了できたか。 質問3 本市において、電子投票を導入する場合の課題は何か。 質問4 投票率向上のための具体策は。 質問5 市民参加型で選挙制度を検討する仕組みを設ける考えは。</p>
No.	質問者	質問項目 (答 弁 者)
11	酒向 さやか (会派きずな)	<p>1. コミュニティスクールとの連携・協働で児童生徒の体験機会確保を (教育長)</p> <p>一問一答方式</p> <p>教員不足が深刻な教育の現場において子どもたちの体験機会をいかに確保し、保障していくか。教員依存から脱却し、地域資源を活かした「地域とともに支える教育」への転換戦略を問う。</p> <p>質問1 本市の教員不足の現状と今後の見通しについて 質問2 教員不足が体験活動に与える影響について 質問3 教員不足が体験活動に与える影響についての評価は 質問4 コミュニティスクール制度の実効性について 質問5 「地域とともにある学校」への転換戦略について</p>

No.	質問者	質問項目（答弁者）
12	大平 伸二	<p>1. 消防団員の準中型免許取得状況は（総務部長）</p> <p>一括答弁方式</p> <p>平成 29 年 3 月の道路交通法改正に伴い準中型免許取得について、平成 28 年第 5 回定例会で消防団員と職員への準中型免許取得支援対策の一般質問をした。改正後 10 年になるが消防活動に支障はないか現状を問う。</p> <p>質問 1 準中型自動車免許資格者が少なく、消防団活動に支障は出ていないか。</p> <p>質問 2 現準中型免許取得支援制度で有資格者増になっているか。</p>

この一覧表は、議員から提出された発言通告書の件名・要旨欄からそのまま掲載したものです。